

陸奥湾海況自動観測事業

扇田いずみ・高坂祐樹

目 的

ホタテガイ養殖等が盛んな陸奥湾の海洋環境や漁場環境を、陸奥湾海況自動観測システム(以下「観測システム」)及び茂浦定地観測によりモニタリングし、得られた情報を陸奥湾海況情報として提供するとともに、海況予報技術、漁場保全対策等の基礎データとした。

材料と方法

1. 陸奥湾海況自動観測システム

2024年1月～12月にかけて、図1に記す平館、東湾及び青森の各観測ブイにおいて、毎正時に表1に観測水深を記す水温、塩分、溶存酸素、流向流速、気温、風向風速、蛍光強度を測定し、年間のデータの欠測数からデータ取得率を計算した。なお、各観測ブイのセンサーの性能を表2に記した。

2. 茂浦定地観測

平日午前9時に、気温は水産総合研究所敷地内、水温は水産総合研究所前防波堤突端にてバケツで採水し測定した。

3. 2024年の海況の評価

観測システムと茂浦定地観測による測定結果を半月別平均値で評価した。半月別平均値は0時～23時の毎正時の観測値を平均して日平均値を求め、その日平均値から求めた半月の平均値とした。半月とは各月を1日から5日ごとに区切った期間である。なお、平年値は1985年～2023年までの平均値を用いた。以降の図表には、欠測又は異常データを除去したために生じた欠落期間を含む場合があるが特に注記していない。



図1. 観測地点

表1. 観測項目

観測地点	観測水深	観 測 項 目						
		水温	塩分	溶存酸素	流向流速	気温	風向風速	蛍光強度
平館ブイ	湾口部 外ヶ浜町平館沖	1m	○	○	4, 6, 8, 10,			
	41° 9.22' N	15m	○	○	15, 20, 25,			
	140° 40.37' E	30m	○	○	30, 35, 40m			
	水深 47m	45m(底層)	○	○	の10層			
青森ブイ	西湾 青森市久栗坂沖	1m	○	○				
	40° 55.20' N	15m	○	○				
	140° 47.14' E	30m	○	○				
	水深 45m	44m(底層)	○	○				
東湾ブイ	湾中央部 むつ市川内沖	海上約4m				○	○	
	41° 6.25' N	1m	○	○				
	140° 57.77' E	15m	○	○				○
	水深 49m	30m	○	○	○			
茂浦		48m(底層)	○	○	○			
	茂浦地先(当所前面)	表面	○	○(比重)		○	△(風力)	

表 2. 観測ブイのセンサー仕様

観測項目	測定方式	測定範囲	分解能	測定精度	測定時間	観測
水 温	サーミスタ	-5～35℃	±0.001℃	±0.002℃	10分間隔 2.4秒	正時前1分から10秒間隔で6 サンプル計測し、平均した 値
塩 分 (電気伝導度)	電極	0～7S/m	±0.0001S/m	±0.0003S/m	10分間隔 2.4秒	正時前1分から10秒間隔で6 サンプル計測し、平均した 値
溶存酸素	蛍光	飽和度 0～200 %	0.01～0.04%	±2%F.S.	0.5秒毎	正時30秒前の観測値
流向流速	超音波ドップラー方式		1° ±0.001m/s	±5° ±0.01m/s		正時の観測値
気 温	白金抵抗	-40～60℃	0.02℃	±0.05℃	5秒毎50秒	正時前1分間計測し、平均し た値
風向風速	超音波式	0～360° 0～100m/s	1° 0.1m/s	±2° ±2%F.S.	5秒毎90秒	正時前1分40秒間計測し、平 均した値
蛍光強度	蛍光測定	0～400ppb	0.01ppb	非直線性 ±1%		正時30秒前の観測値
コンパス	地磁気センサ	0～360°	1°	±5°	瞬時値	正時2分前の観測値

結 果

1. ブイデータの取得状況

観測データを取得データとして取得状況を付表に示した。観測データ全体の年間取得率は約 96%であった。

2. 観測結果

2024 年の陸奥湾の海況について、観測結果の半旬別平均値で評価した。

平年との比較は、平年偏差比(下式参照)を用い、±60%未満を平年並み、±60%以上～±130%未満をやや高めまたは低め、±130%以上～±200%未満をかなり高めまたは低め、±200%以上をはなはだ高めまたは低めと表現した。

$$\text{平年偏差比} = \text{平年偏差} / \text{平年標準偏差} \times 100$$

$$\text{平年偏差} = 2024 \text{ 年観測値} - \text{平年値}$$

(1) 気温

東湾ブイと茂浦の半旬別の平均気温、平年偏差及び平年偏差比を図 2 に示した。また、気温の年範囲を表 3 に示した。

2024 年の東湾ブイの気温は 2 月第 5 半旬に最低の -0.9℃となり、8 月第 2 半旬には最高の 25.3℃となった。年間を通して変動が激しく、気象に伴う気温低下が見られた。11 月～12 月は低め～平年並み、その他は平年並み～高めで推移した。

表 3. 東湾ブイの最高最低気温(2024 年)

毎時観測値				日平均値				半旬別平均値			
最低(℃)	起時	最高(℃)	起時	最低(℃)	起時	最高(℃)	起時	最低(℃)	起時	最高(℃)	起時
-4.9	02/01	29.2	08/23	-2.6	03/02	26.9	08/23	-0.9	02-05	25.3	08-02

○同じ値の極値が複数ある場合は、遅く観測された月日又は月半旬を示した。

○月日は、4 月 1 日を 04/01、月半旬は 4 月第 1 半旬を 04-01 のように表記した。

※以下の表に共通

(2) 風

東湾ブイにおける毎時観測値の風向別出現頻度、日別平均風速及び日間最大風速を図 3 に示した。風向の頻度としては西北西がもっとも多く全観測回数の約 16%となり、西と西南西の頻度を加えると約 43%が西方からの風だった。平均風速も西方からの風が強く、最も強かったのは西北西で 8.7m/s だった。東方(東北東、東、東南東)からの風は頻度が約 19%、平均風速は 5.5m/s だった。

風向風速ベクトル図(「Excel アドイン工房」<http://www7b.biglobe.ne.jp/~hayakari/>の潮流ベクトル

図アドインを利用して作図)を図4に示した。1月～7月は西風優勢、8月～9月はこの時期特有のヤマセが見られ、10月以降は西風が優勢であった。例年6月以降にヤマセが見られるが2024年は6月～7月のヤマセが少ない傾向が見られた。

(3) 水温

各ブイ及び茂浦定地観測における半旬別の平均値、平年偏差及び平年偏差比を図5-1、5-2に示した。また、各ブイの水温の年範囲を表4に示した。茂浦定地水温は各ブイの1m層と同様に変動した。

10月の全ブイの底層は低め、11月～12月の平舘ブイ全層と12月の青森、東湾ブイの全層は平年並み、その他は概ね高めで推移した。最低値は東湾ブイ、1m層、3月第2半旬の4.5℃、最高値は青森ブイ、1m層、8月第2半旬の26.3℃であった。

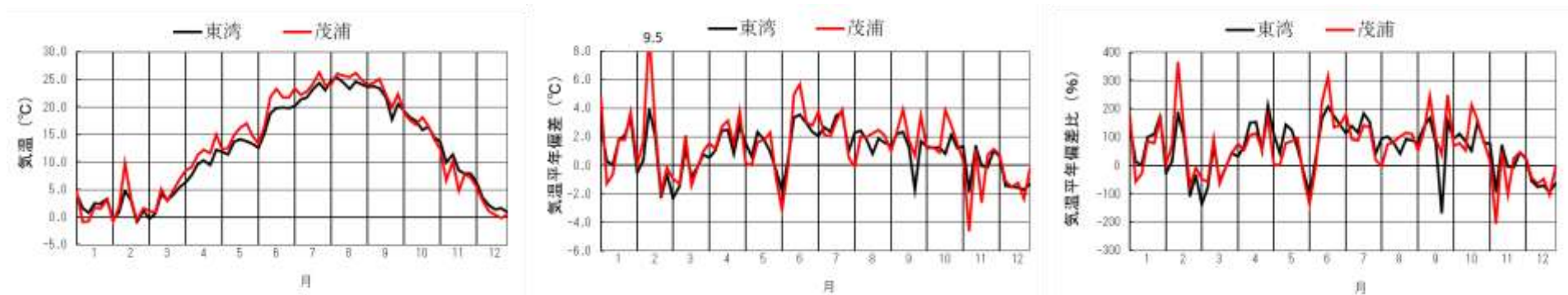


図 2. 東湾ブイと茂浦の半旬別の平均気温、平年偏差及び平年偏差比 (2024 年)

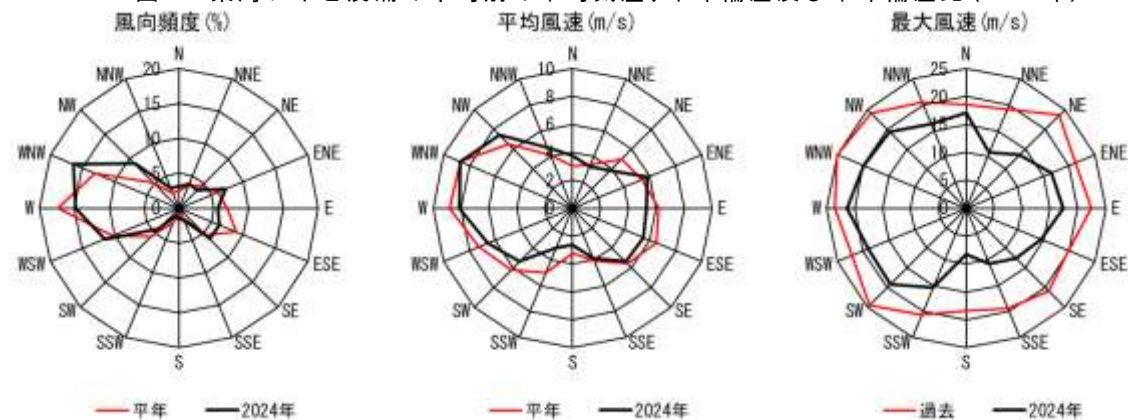


図 3. 東湾ブイ風向別の出現頻度、平均風速及び最大風速 (2024 年)



図 4. 東湾ブイにおける風向風速ベクトル (2024 年)

表 4. 水温の年範囲 (2024 年)

ブイ	水深	毎時観測値				日別平均値				半旬別平均値			
		最低 (°C)	月日	最高 (°C)	月日	最低 (°C)	月日	最高 (°C)	月日	最低 (°C)	月半旬	最高 (°C)	月半旬
平館ブイ	1m層	5.8	03/09	26.7	08/07	6.0	03/09	26.1	08/10	6.5	03-02	25.9	08-02
	15m層	5.8	03/10	26.1	09/02	6.0	03/09	25.8	09/03	6.7	03-02	25.3	09-01
	30m層	6.0	03/09	26.0	09/02	6.9	03/07	24.6	09/01	7.5	03-02	23.5	09-03
	45m層	6.4	03/07	25.4	09/12	7.2	03/02	22.0	10/01	7.8	03-01	21.0	09-03
青森ブイ	1m層	5.7	02/24	27.1	08/09	6.3	03/20	26.6	08/10	6.4	03-05	26.3	08-02
	15m層	6.2	03/20	25.6	09/02	6.3	03/21	25.3	09/12	6.4	03-05	25.2	09-03
	30m層	6.1	03/24	25.1	09/13	6.3	03/24	24.6	09/13	6.4	03-06	24.4	09-03
	44m層	6.2	03/20	22.1	09/13	6.3	03/29	21.1	08/04	6.4	03-06	19.7	08-01
東湾ブイ	1m層	3.9	02/16	27.6	08/04	4.4	03/06	27.0	08/04	4.5	03-02	26.2	08-02
	15m層	4.4	03/07	25.5	09/04	4.5	03/06	25.4	09/08	4.6	03-02	25.3	09-02
	30m層	4.5	03/10	23.8	09/22	4.6	03/06	23.5	09/22	4.6	03-02	23.3	09-05
	48m層	4.5	03/05	19.9	08/07	4.5	03/06	19.5	08/07	4.7	03-01	18.5	10-01

(4) 塩分

各ブイにおける半旬別の平均値、平年偏差及び平年偏差比を図 6 に示した。また、塩分の年範囲を表 5 に示した。

平館ブイでは 1 月～4 月、7 月～12 月は低め～平年並み、5 月～6 月は 1m 層～15m 層で平年並み～高め、30m 層～底層で低め～平年並みであった。青森ブイでは 1 月～4 月、7 月～8 月、11 月～12 月は低め～平年並み、5 月は平年並み～高め、6 月は 1m 層～15m 層で平年並み～高め、30m 層～底層で低め～平年並み、9 月～10 月は底層で高め、その他で平年並みであった。東湾ブイでは 1 月～5 月、9 月は低め～平年並み、6 月は平年並み～高め、7 月は底層で低め、その他で平年並み～高め、8 月は 1m 層～15m 層で低め、30m 層～底層で高め、10 月～12 月は平年並み～高めで推移した。全ブイの 1m 層で 7 月下旬～8 月上旬に塩分が急減しているが、雨による影響と考えられる。最低値は東湾ブイ、1m 層、8 月第 1 半旬の 31.80、最高値は東湾ブイ、底層、10 月第 3 半旬の 34.19 であった。

表 5. 塩分の年範囲 (2024 年)

ブイ	水深	毎時観測値				日別平均値				半旬別平均値			
		最低	月日	最高	月日	最低	月日	最高	月日	最低	月半旬	最高	月半旬
平館ブイ	1m層	32.35	08/03	33.94	03/11	32.56	08/08	33.91	03/13	32.69	08-03	33.86	01-06
	15m層	32.52	08/13	33.97	08/25	32.98	08/12	33.90	08/22	33.13	08-02	33.85	08-05
	30m層	32.75	08/09	34.22	10/04	33.12	08/03	34.01	08/30	33.21	08-01	33.88	06-03
	45m層	33.11	01/23	34.28	08/13	33.15	01/23	34.21	08/12	33.56	01-04	34.09	08-03
青森ブイ	1m層	31.07	04/18	33.66	06/04	32.06	08/02	33.61	06/05	32.40	09-01	33.54	03-03
	15m層	32.83	07/17	33.85	06/16	32.99	07/16	33.75	06/16	33.04	07-04	33.67	06-04
	30m層	32.88	06/30	33.97	10/12	33.09	06/30	33.89	09/05	33.24	06-06	33.85	09-02
	44m層	33.13	01/30	34.20	10/11	33.15	01/30	34.17	10/11	33.19	01-06	34.07	08-05
東湾ブイ	1m層	31.29	08/04	33.55	11/15	31.47	08/04	33.55	11/29	31.80	08-01	33.53	11-06
	15m層	31.41	08/23	33.83	06/23	32.09	08/24	33.68	06/23	32.66	08-05	33.54	11-06
	30m層	32.77	11/03	34.08	08/14	33.08	01/12	33.86	08/23	33.13	01-03	33.72	06-03
	48m層	33.11	01/11	34.30	10/10	33.14	02/26	34.21	10/07	33.17	03-01	34.19	10-03

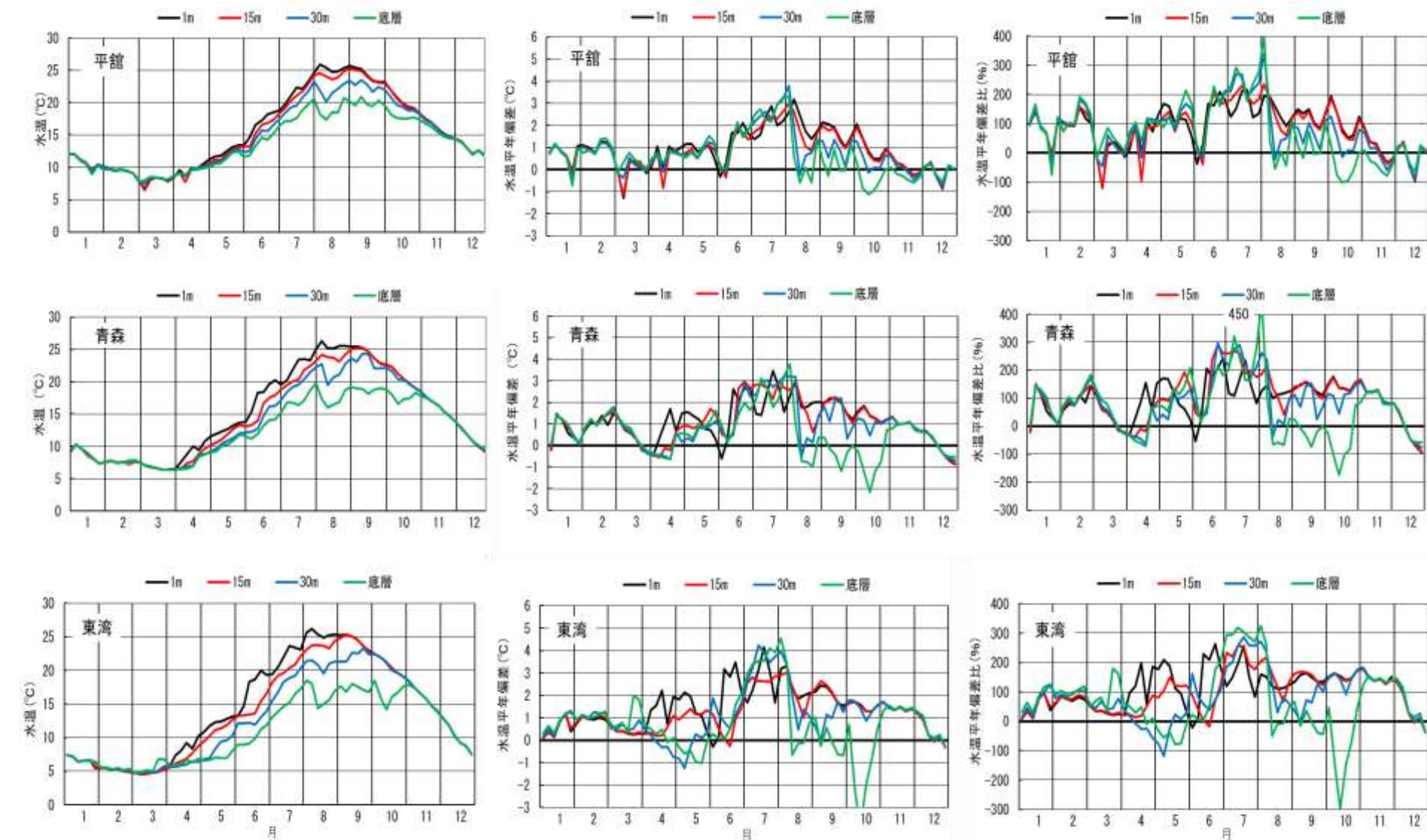


図 5-1. 各ブイにおける半旬別の平均水温、年間偏差及び年間偏差比 (2024 年)

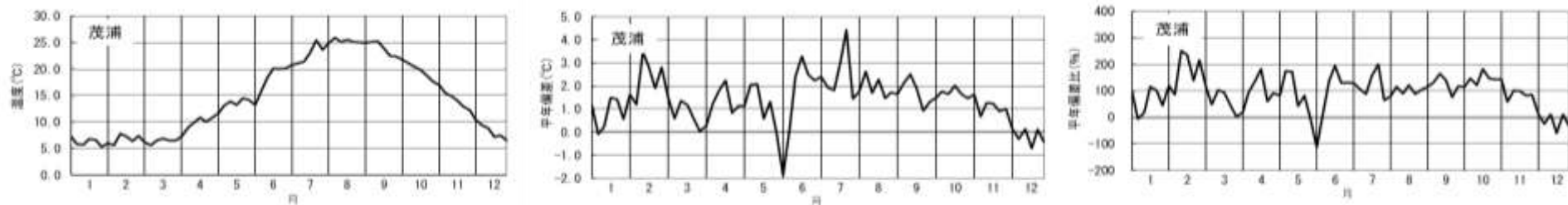


図 5-2. 茂浦定地観測における半旬別平均水温、平年偏差及び平年偏差比 (2024 年)

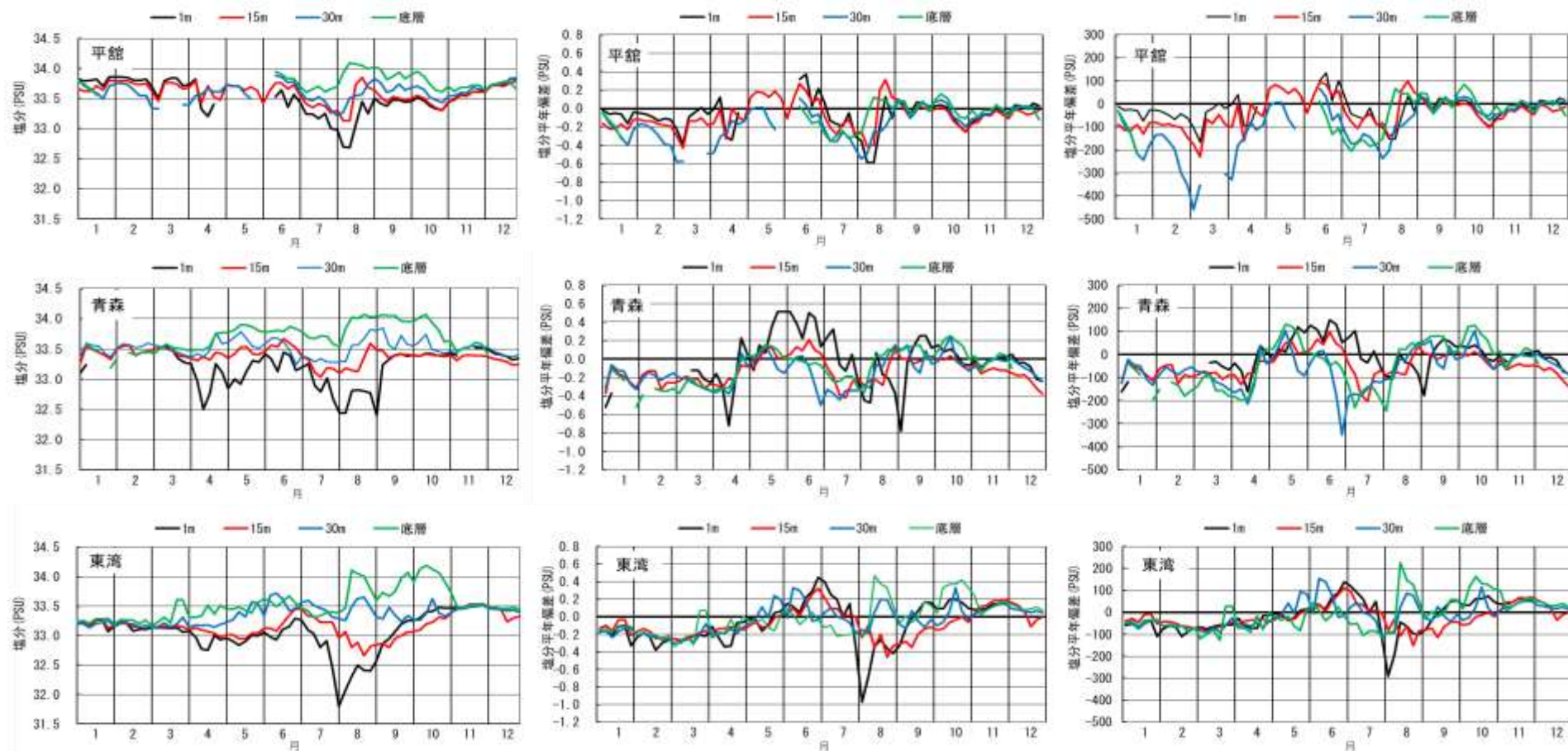


図 6. 各ブイにおける半旬別平均塩分、平年偏差及び平年偏差比 (2024 年)

(5) 溶存酸素

東湾ブイ 30m 層及び 48m 層の半旬別平均溶存酸素を図 7 に示した。また、溶存酸素の年範囲を表 6 に示した。30m 層では年間を通して 79%以上で推移した。48m 層は 3 月から徐々に酸素量が低下し始め、8 月第 6 半旬に水産用水基準の内湾漁場の夏季底層において最低限維持しなくてはならない 4.3mg/L を下回った。10 月第 5 半旬には回復し、11 月第 2 半旬以降は 93%以上で推移した。

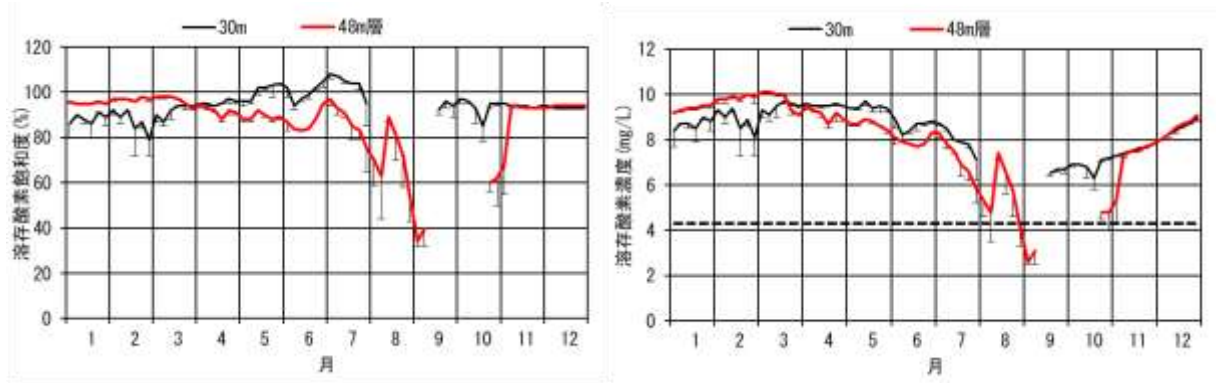


図 7. 東湾ブイ 30m 層及び 48m 層の半旬別溶存酸素の推移(左:飽和度 右:濃度) (2024 年)

※高低線は半旬期間中の観測最低値。右図中の横破線は水産用水基準 4.3mg/L

表 6. 溶存酸素の年範囲 (2024 年)

ブイ	水深	項目	毎時観測値				日別平均値				半旬別平均値			
			最低	月日	最高	月日	最低	月日	最高	月日	最低	月半旬	最高	月半旬
東湾ブイ	30層	飽和度 (%)	38	02/18	112	06/28	69	08/03	109	06/29	79	02-06	108	07-01
		濃度 (mg/L)	3.8	02/18	9.9	02/20	5.0	08/03	9.8	03/18	6.3	10-04	9.7	03-04
	48m層	飽和度 (%)	23	09/12	101	07/03	27	09/13	100	07/03	34	09-01	98	02-05
		濃度 (mg/L)	1.8	09/12	10.2	02/20	2.1	09/13	10.2	02/26	2.6	09-01	10.1	03-01

(6) 流れ

平館ブイの 4m 層～40m 層の流向流速のうち、15m 層及び 40m 層の毎時観測値の流向別出現頻度、日別平均流速、日間最大流速を図 8 に、流向流速ベクトル図を図 9 に示した。流向の頻度は 15m 層、40m 層共に例年と同様南北方向への流れが多かった。特に南流の頻度が多く、15m 層、40m 層ともに約 18%となり、南南西と南南東の頻度を加えると 15m 層は約 40%、40m 層は約 43%が南流だった。平均流速も南流が相対的に速かった。最大流速は、15m 層の南南東で 0.72m/s であった。

表 7. 流向流速の年範囲 (2024 年)

ブイ	水深	毎時観測値		日別平均値	
		最高 (m/s)	月日	最高 (m/s)	月日
平館ブイ	15m層	0.74	08/25	0.32	10/01
	40m層	0.62	08/19	0.24	07/11

(7) 蛍光強度

東湾ブイにおける蛍光強度の半旬別平均値を図 10 に示した。最大値は 1 月第 4 半旬の 2.12ppb であった。

3. 情報の提供

「陸奥湾海況情報」を週 1 回発行し、漁業団体 16 箇所、湾岸市町村 6 箇所、県関係機関 4 箇所に提供するとともに、当研究所のホームページで公表した。2024 年 1 月～12 月に No. 1478～1528 の計 51 回発行した。

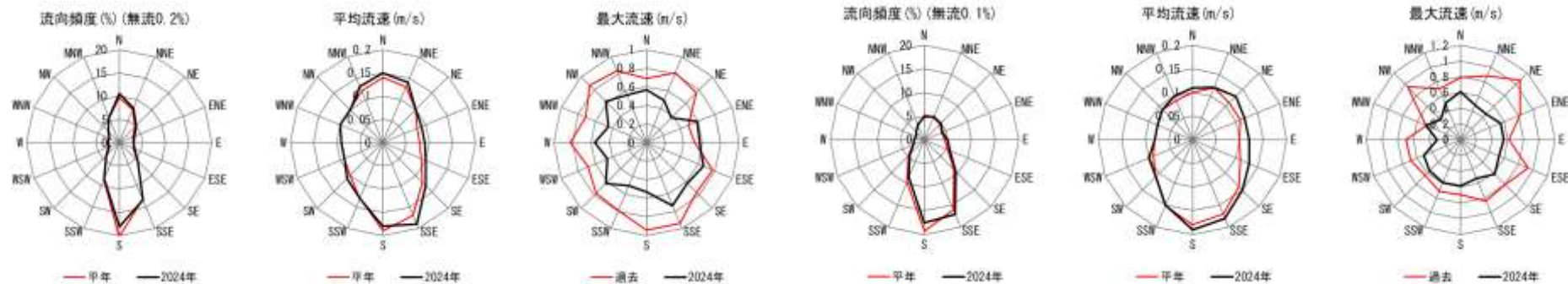


図 8. 平館ブイ流向別出現頻度、平均流速及び最大流速(左:15m 層 右:40m 層) (2024 年)

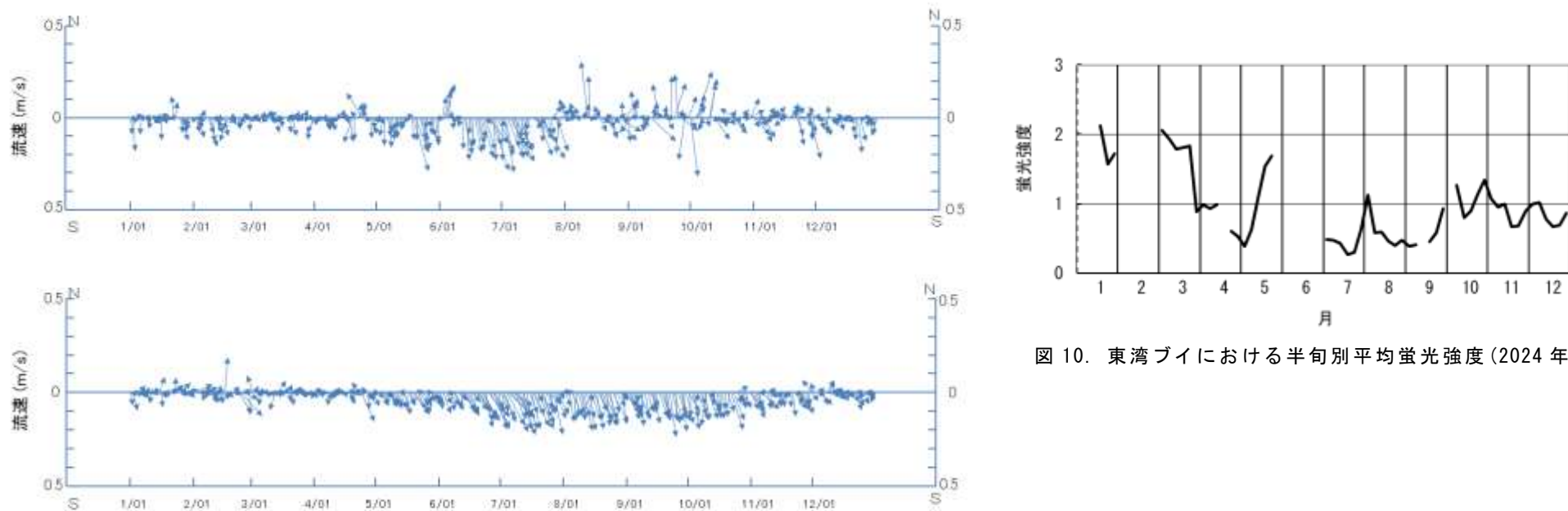


図 9. 平館ブイ流向流速ベクトル図(上:15m 層 下:40m 層) (2024 年)

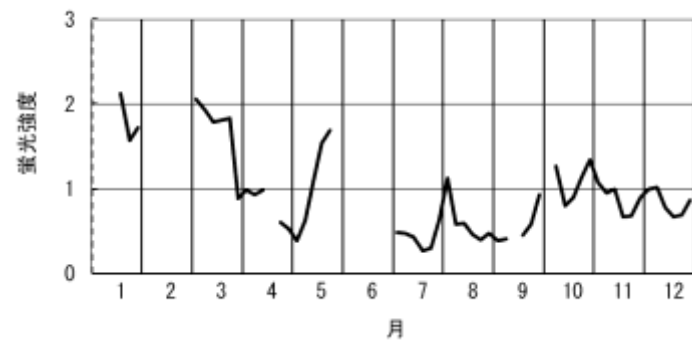


図 10. 東湾ブイにおける半月別平均蛍光強度 (2024 年)

付表 ブイデータの取得状況(2024 年)

観測地点	観測内容		観測数	データ 取得数	欠測数	データ 取得率(%)
平館ブイ	水温	1m	8,784	8,780	4	100.0
		15m	8,784	8,775	9	99.9
		30m	8,784	8,780	4	100.0
		45m	8,784	8,780	4	100.0
		(計)	35,136	35,115	21	99.9
	塩分	1m	8,784	7,731	1,053	88.0
		15m	8,784	8,772	12	99.9
		30m	8,784	8,152	632	92.8
		45m	8,784	5,532	3,252	63.0
		(計)	35,136	30,187	4,949	85.9
	流れ	4m	8,784	8,641	143	98.4
		6m	8,784	8,756	28	99.7
		8m	8,784	8,777	7	99.9
		10m	8,784	8,775	9	99.9
		15m	8,784	8,725	59	99.3
		20m	8,784	8,734	50	99.4
		25m	8,784	8,722	62	99.3
		30m	8,784	8,691	93	98.9
		35m	8,784	8,392	392	95.5
		40m	8,784	8,146	638	92.7
		(計)	87,840	86,359	1,481	98.3
	合 計		158,112	151,661	6,451	95.9
青森ブイ	水温	1m	8,784	8,777	7	99.9
		15m	8,784	8,772	12	99.9
		30m	8,784	8,774	10	99.9
		44m	8,784	8,777	7	99.9
		(計)	35,136	35,100	36	99.9
	塩分	1m	8,784	7,314	1,470	83.3
		15m	8,784	8,769	15	99.8
		30m	8,784	8,739	45	99.5
		44m	8,784	8,124	660	92.5
	(計)	35,136	32,946	2,190	93.8	
合 計		70,272	68,046	2,226	96.8	
東湾ブイ	水温	1m	8,784	7,999	785	91.1
		15m	8,784	8,767	17	99.8
		30m	8,784	8,767	17	99.8
		48m	8,784	8,767	17	99.8
		(計)	35,136	34,300	836	97.6
	塩分	1m	8,784	7,993	791	91.0
		15m	8,784	8,752	32	99.6
		30m	8,784	8,767	17	99.8
		48m	8,784	8,767	17	99.8
		(計)	35,136	34,279	857	97.6
	溶存酸素	30m	8,784	7,755	1,029	88.3
		48m	8,784	7,893	891	89.9
		(計)	17,568	15,648	1,920	89.1
	風	ブイ上	8,784	8,679	105	98.8
	気温	ブイ上	8,784	8,778	6	99.9
蛍光強度	15m	8,784	7,779	1,005	88.6	
合 計		114,192	109,463	4,729	95.9	
総 計		342,576	329,170	13,406	96.1	